

TOKYO MAGAZINE

講演会

続・廃線は語る ～時代の変化と東京の鉄道～

鉄道セクション

参加無料

全国には、時代の変化とともに廃止された鉄道の路線－廃線－が多く存在します。こうした廃線跡からは、地域の歴史や文化が垣間見えます。今回は、鉄道雑誌編集者である講師に、東京都内の廃線の歴史や現在の様子をお話いただき、その魅力に迫ります。

平成30年度講演会「廃線は語る～多摩地域を中心として～」の続編です。

日時 令和3年7月3日（土）午後2時から午後4時まで
 実施方式 Web会議ツールによるオンライン開催
 （※参加無料 ただし、通信料等は自己負担）
 定員 150名（応募多数の場合は抽選）

講師 なとり 名取 のりゆき 紀之氏



鉄道図書出版「OFFICE NATORI」主宰。
 2019年4月から現存最古の鉄道趣味誌『鉄道模型趣味』（機芸出版社）編集長。
 元『Rail Magazine』（ネコ・パブリッシング）編集長。
 『Rail Magazine』編集長在任時のブログ「編集長敬白」は1日1万アクセスを誇った。
 [主な著作等]
 『紀州鉾山専用軌道－その最後の日々』（ネコ・パブリッシング 2017）
 『編集長敬白』（ネコ・パブリッシング 2008）

名取氏撮影 晴海橋の今昔

晴海や豊洲、芝浦に東京都の臨港鉄道が走っていたこと、知っていますか？講演会では、開発が進み、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村や競技会場が整備されるなど、激変した臨海地区の廃線跡についてもお話しいたします。お楽しみに！



晴海橋を渡る東京都港湾局晴海線最後の回送列車
 (1989年2月9日)



高層マンションに囲まれて今も残る晴海橋
 (2017年11月29日)

RAIL MAGAZINE COURAGE

申込方法

都立図書館ホームページからお申し込みください。

○東京都立図書館ホームページ

<https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/>

「新着情報」>「イベント」>「イベント一覧」>

「東京マガジンバンクカレッジ「続・廃線は語る

～時代の変化と東京の鉄道～」を開催します」

▼お申込先



※ご参加にはメールアドレスと、Web 会議を閲覧するための端末

(パソコン、スマートフォン、タブレット等)が必要です。

申込時に入力したメールアドレスに、講演会に参加するための URL をお送りします。

申込締切 令和3年6月17日(木) ※締切当日到着分まで有効

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、オンラインで開催します。

また、状況により、予定を変更することがあります。

東京
マガジン
バンク
カレッジ

東京マガジンバンクカレッジとは

東京都立多摩図書館では豊富な所蔵雑誌を活用し、学びと交流の拠点を作り上げることを目指す「東京マガジンバンクカレッジ」という取組を行っています。雑誌の魅力「知る・創る・伝える」というコンセプトのもと、「雑誌総合」、「多摩」、「鉄道」の3つのセクションごとに多彩な活動を展開しています。



東京都立多摩図書館

〒185-8520

東京都国分寺市泉町2-2-26

電話 042-359-4020

都立図書館

アクセス

- ・JR中央線・武蔵野線
「西国分寺駅」南口徒歩7分
- ・京王バス 寺85系統
「いずみプラザ前」下車徒歩5分
- ・ぶんバス 万葉・けやきルート 北町ルート 日吉町ルート
「西国分寺駅東」下車徒歩4分

※駐車場(有料)は台数に限りがあります。
ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。



アカウント名
@tm_library



アカウント名
tmlibrary



エフエムたちかわ(84.4fm)でイベント情報発信中!
毎月第4水曜AM11:30 情報番組「プレス」
PCやスマホでListenRadio等から聴くことができます。